

# KSKQ どかどか No.290

## ぽぽんがぽん news

笑顔あふれ つながりあえる社会へ  
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～



### 虐待事案の発生に関するご報告とお詫び

当法人の運営するグループホームにおいて発生しました虐待事案についてご報告させていただきます。

#### 1. 虐待内容

グループホームにおいて、支援職員(以下、当該職員とする)が1名の利用者に自傷行為を強要する

#### 2. 発覚および虐待認定までの経緯

2021年

11月4日(木) 夜間に同ホーム職員より、当該職員による虐待の疑いがあるとの一報が管理者に入る

11月5日(金) 事務局に報告が入り、所轄行政へ虐待通報(8日受理)

11月6日(土) 法人による当該職員への聞き取り、事実関係の確認

12月3日(金) 所轄行政からの聞き取り調査を経て、虐待として認定される

#### 3. 法人としての再発防止への対応

行政による実地指導を受け、再発防止に向けた原因検証のため、法人理事の三田優子氏(大阪府立大学)

および栗原久氏(一般財団法人フィールド・サポートem.)の協力のもと、事業所内での虐待防止研修や意識調査、虐待防止指針等の策定(従来マニュアルの再編)に向け動き出しました。その中で、障害の理解や支援の考え方に関して、説明・指導・研修等がしっかりと行えていなかったこと、また職員からの相談体制に関する課題があったことが浮き彫りになっています。

今回の虐待事案の発生によって、当該利用者およびそのご家族はもちろん、その他のご利用の皆様、関係の皆様方に大きな不安を与えてしまい、これまでの期待を裏切るような事態を招いてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。法人としての責任を重く受け止め、再発防止に真摯に取り組んで参ります。

社会福祉法人ぽぽんがぽん

理事長 浅野省三

1	ご報告とお詫び	5	コロナ渦でドキドキ、バタバタのある一日
2	2022年度方針について	6	ほっとひといき
3	きょうのNANIKA	7	ご寄付等お礼/授産製品紹介
4	スタッフ紹介	8	編集後記

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行



## 社会福祉法人ぽぽんがぽん 2022年度方針について

コロナ禍3年目の新年度を迎えることになりました。この2年間で生活習慣・様式や経済状況はずいぶんと変わりました。人と近くにいることの安堵感や楽し気な空気は無くなり、人と近くにいることに警戒感や申し訳なさが漂うようになりました。いつまで続くのか？ということについていつまでも考えていることにも区切りが必要なのかもしれません。

さて、本紙表紙にてご報告いたしました通り、当法人において虐待事案が発生してしまいました。このことは、事業管理運営における大きな課題と向き合うこととなります。一定の原因究明への取り組みは行ってきましたが、もっと深く広い意味での原因究明と改善には長く時間を要するし、要さなければならぬとも思います。

また、各事業の収支状況にも課題があり、対策が必要となっております。コロナ禍によるこの2年間に於いて、事業収支の課題がより顕著となっております。これまで、法人全体での赤字が生まれていなければよしとしてきた面がありましたが、事業毎の経営見直しも必要となっております。

2022年度に関しましては、①虐待防止のための教育体制・早期発見の仕組みづくり、②コンプライアンスを重視した運営、③収支回復に向けた経営改善に向けた取り組みを進めて参ります。

コロナ禍による課題も継続する中、私が事務局長を拝任させていただいて以来、最大の窮地に立っているように感じております。しかしその一方で、オンラインやICT技術等の発展に伴い、新たな活動の共有や法人、地域を越えた協働の機会が増えてきているのも事実です。また、法人内からも積極的な課題提起の声や新たな取り組みが芽生えていたりもしています。そういった新しい力にも頼りながら、さまざまな課題・問題を好転させていきます。

今年度も何卒ご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

事務局長 水野昌和

# きょうのNANIKKA

006

生活介護事業所ぽかぽか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、  
 私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何かいいなあ…」と感じた「何か」。  
 名前をつけたり説明してしまう前に、まず色んな人に見て欲しい、  
 そして一緒に考えられたらいいなと思います。

白鳥IC	小矢部砺波JCT
びふ大和だ	
郡上八幡IC	
美並IC	福光IC
古城山PA	城立峠SA
美濃IC	
美濃・関JCT	五箇山IC
関SA	
関IC	飛馬單清見IC
山崎各務原IC	飛馬單白川PA
川島PA	荏川IC 白川郷IC
一宮木曾川IC	ひるがの高原SA
尾西IC	高鷲IC 飛馬單河合PA
一宮JCT	

## メモから推理する

### その① 東海北陸道

林裕之さんは休憩時とときどき、道路地図を見ます。手で距離を測り、熱心な様子でページを見ています。

左の文字は、林さんがメモ用紙に書いたものです。  
 東海北陸道の I C や J C T が書いてあり、それぞれ下から、左の列は愛知の一宮で南から東海北陸道に入り、白鳥まで。真ん中の列で次の高鷲から飛騨清見まで。右の列で次の北端の小矢部砺波まで。それぞれ南から北へ、最後は富山に到着するメモのようです。

左の列はほぼ等間隔ですが、右と真ん中の列は間隔が  
 いています。地図上で見た時の距離を表しているような気  
 も…？

また、南から北に向かう時にだけ入れる長良川 S A と  
 瓢ヶ岳 P A は書かれておらず、北から南に向かう時に  
 だけ入れる関 S A と古城山 P A は書かれている…  
 とすると、これは南から書いたのではなく北の小矢部砺波  
 から書いたもの、ということ…???

- ホンマかいな

---

- 月曜レギュラー
- ホンマかいなザ・ニュース

---

- 火曜レギュラー
- ホンマかいなTOP情報

---

- 水曜レギュラー

---

- 占い押し

---

- 木曜レギュラー

---

- 電話相談室

---

- 金曜レギュラー

---

- 爆笑トークソング

### その② ホンマかいな

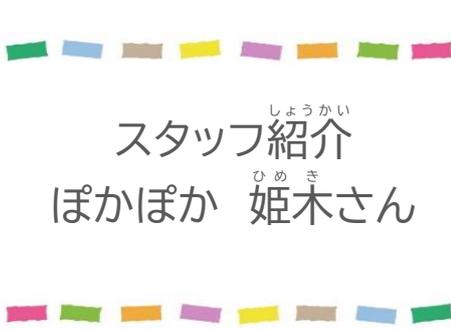
こちらで林さんのメモで、本人の机に貼ってあります。  
 「ホンマでっか!?TV」ではありません。調べると、1997年  
 から98年にかけて半年間だけ放送されていた番組のよう  
 です。

でも、どれだけ調べてもメモにあるようなコーナーは出て  
 ません。そもそも、土曜の昼に放送されていた番組で、  
 月曜から金曜まで「レギュラー」とは…「いいとも」と混ぜて  
 みた??

「本人に聞け」と言われそうですが、この「わかりきらない」  
 感じもちょっと良いなと思っています。

(題字：林裕之さん 文：山根康純)

いっしょに考える。  
 いっしょに行う。 



# スタッフ紹介 ぽかぽか 姫木さん

「ぽかぽか1F」フロア担当の姫木です。

送迎車が到着し「おはよう」の挨拶。声のトーンや表情で、反応や動作の様子を見ながら

調子良さそう・・・何かしんどそう・・・機嫌悪い・・・？ 不安やら心配やら・・・ もろもろ抱いて今日もスタート！

「怪我や事故のない様に」「体調の変化に気を付ける」「感染予防を徹底する」「表情や仕草に敏感に」etc.etc スタッフ全員が、一人一人をしっかり見る！を怠らない。

「ぽかぽかに来るのが楽しい」「安心して過ごせる」そう思ってもらえる場所でありたいと心から願い自指しています。「あーでもない」「こーでもない」とあれこれ迷って、みんなで話して、熱意をもって会議で話して、日々格闘してくれているスタッフの頑張りによって何とか無事に運営できています。

昭和59年新卒で「ニッショーストア」に入社。精肉部門で「お肉屋さん」を5年半。バブル後半の平成元年に事業運営専門のベンチャー企業に転職し「白馬乗鞍でのペンション&レンタルスキー」を皮切りに「毎日新聞子供野外スクールのインストラクター」「鳳 ウィングスでの漢方生薬湯」「大阪ミナミ！南海通りと宗右衛門町での居酒屋」「心斎橋豊屋町でのラウンジ」「ひらかたパーク季節アトラクションの企画運営」「甲賀市・花風の湯&葉膳レストラン鹿深の森の企画運営」「旅亭紅葉での管内運営」「ブライダル&イベント司会」etc.etc いろんな出会いと様々な思いを刻みつけました。

平成22年ふとした縁で草津市の「社会福祉法人若竹会」にて福祉の世界と出会い、生活介護・就労支援・B型作業所・居宅介護・移動支援・有償運送・グループホームと様々な事業所で、支援者・管理者・サビ管としていろんな立場で目一杯経験させてもらいました。

『行け！と言われたところに行って、やれ！と言われたことをやる。それが嫌なら辞めるか自分でやるしかない！仕事とはそういうもの』という持論もあって、全力で駆け抜けた9年間となりました。

『60歳までには大阪に戻る』と決めていて、滋賀県での23年間の単身赴任に終止符を打ち平成31年4月より「ぽぽんがぼん」でお世話になってます。コロナ渦の大変な世情の中で、仕事があり安定した収入があることに感謝感謝の毎日です。

タイガースと花園近鉄ライナーズ。ガンバ大阪の優勝を懲りずに信じ！お酒とカラオケをこよなく愛し！「コロナが終わればガンガン行くで～」と自覚も落ち着きもない還暦オヤジです。(姫木泰彦)





## 『 コロナ禍でドキドキ、バタバタのある一日 』



自立生活をされているAさんは、1/24(月)の午後から 37度台の熱が出ました。作業所でPCR検査を  
してもらい帰宅。この日の朝と夕方に、珍しくてんかん発作も出ていました。

夕方には 38.5度に。主治医に相談し解熱剤を飲んででももらいました。21時頃には、37度台に。翌朝(25  
日)も 37度台だったので解熱剤を飲んででももらいました。昼には 36度台になり、その後も 36度台で安定。A  
さんも少しずつ身体が楽になっている様子も見られ、ホッとしていました。

ところが、18時30分頃に検温すると 37.0度。PCR検査の結果もまだ。ぶり返してきたかなと思い、  
念のため酸素濃度も測ってもらうことに。

パルスオキシメーターでAさんの指を挟むと、なかなか数値が表示されず、パルスオキ  
シメーターがおかしいのかと思って、自分の指を挟むと少し時間はかかったが“99”と  
表示。再度、Aさんの指を替えて測ってみると“88”。手を替えて測り直すも、なかなか  
数値が出ず、また指を替えて“90”。

Aさんを見ると、ハーハーもしていないし、苦しそうでもない。でも、酸素濃度は“90”  
までしか出ない。……。

焦りながら、Aさんに「深呼吸してみてください」と声をかけると『深呼吸』とは言うてくれましたが、深呼吸するこ  
とは難しく、「んー、いっぱい息を吸って」にも『息を吸って』と言うてくれました。私が大きく息を吸ってみ  
ると、少しマネはしてくれました。が、そんなことをしても“90”。

何度かAさんと自分の指を替えながら測るもAさんの酸素濃度は“90”以上にならず、焦る私の心拍数だ  
けが“111”と上昇。これはダメだと思い、体調不良時に受診している診療所へ電話で相談をし、救急車を  
呼ぶことに。

Aさんに「今から、救急車に乗って病院に行きます」と伝えると『ヨーチヨチ』と小さな声で“嫌だ”と  
言われました。そう言われるのは分かっていました。

イレギュラーなことがとても苦手なAさん、夕食を作る直前というタイミングでもあ  
り、救急車に乗ってくれるかな？と一瞬頭をよぎりました。いや乗ってもらわないと  
ダメだ。と、バタバタと締め切りや持ち物などを用意していると、私の慌てっぷりで察知さ  
れたのか、Aさんは上着を着て素早く玄関へ。



私に「まだか！」と言わんばかりに、ドアを開け私の方を見ておられました。「救急車が来るまで中  
で待とう」と声をかけているところに救急隊が来られ、一緒に家の中へ。

救急隊が測ってくれた酸素濃度は“99”。

「血圧、心電図も問題ないです。この状態で病院に行ってもそのまま帰されると思いますが、行きます  
か？」と聞かれ、行かないことに。救急隊は「何か変化が見られたら、またすぐに連絡して下さい」と言われ  
帰られました。

私は緊張と安堵でフワフワした感じでしたが、Aさんはエプロンをつけ夕食作りスタート。いつも通り  
の流れで進めてくれたAさんに、私は気持ちも夕食作りも(その後も)助けられました。

この日の 22時頃、PCR検査は陰性と分かりました。

素早く上着を着て、玄関のドアを片手にヘルパーを待つAさんの姿が格好良かったです。(太田由紀子)



「ほっとひといき」をご覧の皆さん、はじめまして。  
 ユースプラザ「エント」の利用者の藤川龍平です。  
 今回は私が大好きな「自分の想像力を刺激されるモノ」  
 についてお話ししたいと思います。

たとえば、漫画を読んだり、アニメや映画を見たら、ああ面白かったな。  
 と感想を述べてそれで終わるのではなく、その世界からイメージを  
 膨らませて自分ならこんなキャラを登場させたいなど空想したり。  
 ゲームをプレイしたら、次はこういうゲームで遊びたいなど思いついたり。  
 音楽を聞いたら、その曲から物語や世界を空想したり。  
 テレビ番組を見ても、YouTubeを見ても本を読んでも、人と会って  
 話しても、僕は、世界を自分の想像力・イメージのタネにして楽しんでい  
 ます。そして、こうやって受け取ったイメージを、また他のアイデアに  
 役立てようとするのも好きです。私は、世界からインスピレーションを  
 得て「何か」を常に空想し、世界を楽しもうとしています。



現在、私は「エント」でボードゲーム好きな利用者の方と友達になり、様々な種類のゲームで何度も遊んでいます。  
 その中で私は、「自分でもカードゲームを作りたいな」と思って構想をたくさん練るようになりました。こうやって「カ  
 ードゲームを作りたい」と思っていると、全てのものをカードゲームを作るための視点で見ることが出来ます。  
 もうこうなったら、世界がゲームになったも同然です。

ゲームを作った考えた人の立場に立つと、その人がどれだけ凄いことをしたかに感動することが出来ます。音楽や  
 漫画でもそうです。思いついた人、考えついた人、完成させた人、サポートした人。自ら作ろうという気概を持つと、  
 既にある「モノ」に対して、より深く感動を受け取れるので、それだけでも世界を楽しむことができます。  
 この、想像力で感動ポイントを増やすことは、世界を面白がるために非常にいい事だと私は思っています。

皆さんは、日々の生活の中で退屈を感じる時はありませんか？自分の目の前にあるもの全てを味わい尽くしたよう  
 な、もう何か新しい刺激はないのかもしれない…と思うことはないでしょうか？  
 そうした時に想像力は、あなたの退屈を変えるかもしれません。例えば、頭の中で映画の主人公を違うキャラにし  
 てみたりすると全く違う物語になりますし、主人公に振り回される友達の気持ちを考えてみたりすると違った角度で  
 物語が見えてきます。音楽ならベースの音にだけ意識を傾けて聴いてみるなんてのも面白いかもしれません。

世間的に不評なものを面白く見ようと思ってみるのもいいでしょう。なぜ面白くないのか、自分ならどうしたら  
 面白いと思うのか。面白く感じなくてもいいのです、面白くなかったあ!!と叫んでみると逆に面白くなってくるもの  
 です。友達とか、家族とか、インターネットにある記事とか人々とかにヒントをもらおうと、それだけでも新しい見方を  
 獲得できて、面白くないものが面白くなって来るかもしれません。

私が一番伝えたいことは、こうやって色々な見方で面白がることできるようになると、物を貶さなくて済むように  
 なることです。「よく出来てないものも面白い」「ツツコミどころがあるから面白い」「良いものもそうじゃないものも  
 面白い」となったら、世の中の全てのことをプラスの感情で受け止めやすくなって、お得だなど思うのです。  
 みなさんも、自分の想像力を活かしながら、いつもとちょっと違う世界を見てみようとしてみてはいかがでしょうか。  
 もしかしたら全く違う世界が見えてくるかもしれませんよ？

ユースプラザエント利用者 藤川龍平

いっしょに考える。  
 いっしょに行う。



# ぽかぽか・どかどか「Instagram」「スズリ」を公開しました。



Instagram

\*Instagram…ぽかぽかで生まれた作品や商品などを紹介していきます。  
[https://www.instagram.com/poka\\_poka\\_works/](https://www.instagram.com/poka_poka_works/)



\*スズリ…ぽかぽかで生まれた作品をアイテム化していきます。  
<https://suzuri.jp/pokapokaworks>



ぽかぽか・どかどかでの取り組みを、もっと色々な人に知ってもらえる、一緒に考えていけるきっかけになればと思っています。よろしくおねがいします！

## ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

ご寄付等のお礼 2021年11月21日～2022年2月15日まで（順不同）

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。

● **社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ご協力ありがとうございました。**

川崎様 埴淵様 新井様 鎮山様 匿名の皆様

● **つながりの会ぽぽんがぽん（後援会）へのご寄付ご協力、ありがとうございました。**

【ご寄付いただいた方々】萩原様 巡りごはんいろは鍋谷様 匿名の皆様

【募金箱のご協力（回収）】埴淵様 王様 今村様 餃子の王将阪急茨木駅前店様 ファミリーマート並木町店様  
ファミリーマート舟木町店様 法人本部

● **アルミ缶・牛乳パック・その他物品の提供ありがとうございました。**

【アルミ缶】ハロハロ様 舟橋様 浅野様 埴淵様 作業所へ持参して下さった皆様

【牛乳パック】ハシオダニ様 横山様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様

作業所へ持参して下さった皆様

【文房具等物品】コープこうべ自主活動グループ小間物屋さん



社会福祉法人ぽぽんがぽんへご寄付をご希望いただける方は、ゆうちょ銀行へお願いいたします

<払込取扱票をご利用される場合>

口座記号口座番号：00930-0-212299  
口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぽん

<口座振込をご利用される場合>

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900  
店番：099 預金種目：当座  
店名：〇九九(ゼロキウキウ)  
口座番号：0212299  
口座名称(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぽん  
口座名称(カナ)：フクポポンガポン

## 編集後記

2021年度もコロナ対応に追われた1年でした。

ぽぽんがぽんにおいても、利用者や職員が感染することはありましたが、これを書いている現時点、幸いなことに重症化した人はおらず、現場の感染対策もあって拡大することは避けることができている状況です。

その一方で利用者には、ガイドヘルパーの利用の自粛をお願いし外出ができなくなったり、作業所では陽性者がいたら一時閉所となり突然通えなくなったり、グループホーム等生活の場でも通常の家庭よりも感染対策をとり、人と人の交流が減ってしまったことなど、命を守ることが目的ではあるものの、特に知的障害のある人にとっては、大きな負担をかけることになっています。

コロナの長期化のなかで利用者も職員もストレスが蓄積されているように感じます。

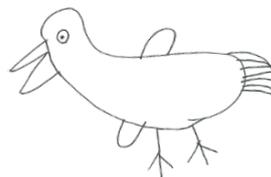
そして、ぽぽんがぽんだけに限らず、多くの人々が疲弊している社会状況だとは思っています。

ですが、こんな時だからこそ、いやおうなく変化していく時代の流れの先に「どれだけ重度の障害があっても地域で自分の決めた生活を送ることができる社会」をどう実現できるかを考えて取り組みたいと思っています。

おたごろう  
(太田吾郎)

ぽかぽかで、  
Instagramとスズリ  
を始めました。

INSTAGRAM



SUZURI



編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」

(社会福祉法人ぽぽんがぽん)

Tel(072)623-9202 (お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F



<https://popongapon.com/>

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT

み  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

いっしょに考える。  
いっしょに行う。